



# Happy通信

2021年4月号



みなさん、ご入学・ご進級おめでとうございます。ドキドキ、わくわくしながらも、自分のペースを大切に、いろいろなことを思いっきり楽しみましょう。それでは、今月も教室のトピックスをたくさんお届けします。ご覧ください♪

## 【3月のトレーニング】

- 3月 1日～ 名前
- 3月 8日～ 電話①
- 3月 15日～ 気持ちを表そう
- 3月 22日～ 防災訓練(火災)
- 3月 29日～ お店のルール



## 【★トレーニングの振り返り★】

3月1日 SST【何が通った?】

衝立の間を指導員が食べ物などのカードを通して「何が通ったかな?」と、見た絵の名前を回答カードに書いてもらう取り組みを行いました。答えを、ひらがなやローマ字・絵を書く児童などそれぞれの答え方があり、答える時も「アップル!」「ペンソー」と英語で発表する児童も見られました。



3月3日 高学年講座【パーセンファイト】

指導員が出す問題を聞いて、正解と予想の誤差ができるだけ少なくなるように、割合を予想する取り組みを行いました。持ち点100点から、正解と予想の誤差分を引いていき、10問終わるまでに1点でも残ることを目標として行っています。参加者が3人だったので、回答者1人、必要に応じて助言をする役を2人とする形で問題ごとに回して取り組んでいます。日本で左利きの人(正解11%) ニシローランドゴリラのB型の割合(正解100%)高校生のアルバイト経験者(正解37%)の問題を聞き、「クラスだと40人中10人いるかいなかった感じかな?」や「ゴリラってAかOだったと思うんだよね。AかOしかないんじゃないっけな...」、「ここにいる2/3がアルバイトしてないの確定だから、30%くらいじゃね?」など意見を交換して取り組むことが出来ました。



3月25日【防災訓練】

防災月間として火災を想定した避難訓練を行っています。始めに、防災クイズを中高生用と小学生用で10問ずつ行いました。その後、ベランダの物置が火元と想定して、トリニティー広場まで避難しています。小学生には【エレベーターの中にいる時地震発生。1,すべての階を押す。2,そのまま乗る】や【学校の帰り道に大地震。1,ブロック塀から離れる。2ブロック塀に隠れる】の問題。中学生には、消火器の使用期限は何年でしよう。震度を決定している組織はどこでしょう。などの問題に取り組んでいます。避難訓練の際には、横断歩道の渡り方や「おかしもち(押さない・かけない・しゃべらない・戻らない・近づかない)」を確認しています。点呼からトリニティー広場までの避難時間は5分以内に行うことが出来ました。



## 【緊急連絡先の提出をお願い致します】

先日、令和3年度の緊急連絡票を郵送させていただきました。ご記入の上、教室までご提出をお願い致します。書き方の見本をSNSにて配信しておりますが、ご不明点などありましたら教室までご連絡いただければ幸いです。

## 【芝浦教室に新しい先生がやってきました!】

「苦手」に向き合うのは誰でも大変です。だからこそ私は、「楽しい!」を大切にお子様と接するよう心がけています♪  
気付いたらできていた!  
ちょっと頑張ったら  
ものすごくほめてくれた!!  
ハッピーテラスが  
そんな経験を  
たくさん積める場所になるよう、一人ひとりのお子様に合わせたサポートを提供していきます!



【大場 健 おおば けん】

## 【新型コロナウイルス対策について】

・ご来所の際は、コロナ感染症の予防として、教室でのマスク着用をお願いしております。何卒ご理解・ご協力のほどお願い致します。また、職員もマスク着用で対応させていただきます。  
・教室入室前の手洗い、うがいに加えて検温、アルコール消毒を実施しています。ご協力の程、よろしくお願い致します。  
また、マスクを忘れてしまう児童や、遊びの中で破損してしまうケースもありますので、予備を持たせていただくと幸いです。

## 【もし、濃厚接触者が出た場合はご連絡ください】

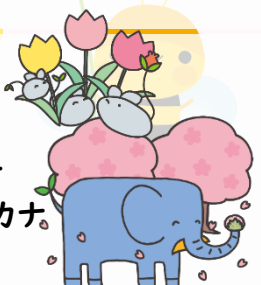
・万が一身近な人に濃厚接触者が出た場合は教室までご一報いただけますと幸いです。  
・また、濃厚接触者ではないが芝浦教室に通ってもいいのか不安になった際は、いつでもご連絡・相談ください。

## 【トレーニングの当日のフィードバックについて】

非常事態宣言解除となりましたので、通常通りフィードバックを行っております。一人通いのお子様で、当日のフィードバックをご希望される方は、教室までご連絡ください。

## 【4月のトレーニングの予定】

- 4月 1日～ お店のルール
- 4月 5日～ 身だしなみ
- 4月 12日～ 時計の読み方
- 4月 19日～ ひらがなカタカナ
- 4月 26日～ 料理





2021年4月号

# Happy通信



## Happy通信コラム (第9回)

### 第9回 アサーティブな表現をする際の心構え

今回は、言語表現のアサーションの集大成として、心構えのポイントについてご紹介します。大きく分けると5つの要素に分けられますので、それぞれについてご紹介します。

#### 1. 日常会話のアサーションと課題達成・問題解決のアサーションを結びつける 最初に、それぞれのアサーションの特徴を簡単に振り返ってみましょう。

##### ◆日常会話のアサーション(メンテナンス)

→自分や他者の気持ち、思考、存在を受け止め、応答し、協力、協働しようとする姿勢と言動を表現

##### ◆課題達成・問題解決のアサーション(タスク)

→状況をしっかり分析することで、課題を見定め、客観的に見ても妥当な解決策を決めて実行する

これらはそれぞれに独立しているのではなく、適切なメンテナンスを基盤とすることで、タスクの場面でも自他を尊重でき、円滑なコミュニケーションができます。そのため、ワーク・ライフバランスに課題を感じている方が、それぞれのアサーションの状態を見直してみることは非常に効果的です。

#### 2. 自分を相手に伝える

アサーションに限らず、コミュニケーションは、【自身を誰かに理解してほしい】という動機から生まれる行動です。しかし、誤解や無視などの様々な要因から、そういった想いを率直に示している人は、ごくわずかであるのは皆様も周知の通りです。

ともあれ、他者とコミュニケーションをとるという事に関しては、自分のことを率直に相手に知らせることへの覚悟が必要です。仮に他者との関わりの場で、自分に関する情報を出したくないから黙っていたとしても、言葉での情報は相手に与えてはませんが、「黙っている」という状況から、今度は間接的に感じの悪い印象を持たれてしまう可能性が生まれてきます。そういった事態に陥らないためにも、「それに関してはまだお話できません」というように直接言葉で伝えたり、次回以降お伝えしたりと自発的に意思を示していくことはコミュニケーション場面では重要です。

#### 3. 応答にちよい足しする

コミュニケーションは簡潔に言うと、情報のやり取りです。そのため、コミュニケーションの中で質問に対して受け答えをする、という経験が皆様にもあることと思われます。この際、会話に円滑な流れを生むのが、この項目で言う受け答えへのちよい足しとなります。聞かれたことに答えるだけでなく、質問に関連した内容の情報を少し足して応答することによって、話題に広がり生まれ、いつの間にかできていた【質問する担当】と【応答する担当】という一方通行の関わりから、【お互いに聞きたいことを聞いて答える】という双方向的な関わりに繋げていくことができます。



2021年4月号

# Happy通信



## 4. 質問を使い分ける

前項で触れた通り、会話の中では質問や問いかけが多用されます。その際、前項のちよい足しの情報が相手から得られなかった際でも、質問の仕方自体を工夫することで会話を円滑に進めることもあります。

そこで、この項目では2つの質問と、その特徴を紹介します。

### ◆開かれた質問

→「はい」、「いいえ」だけでは答えられない質問。Ex)「今日の宿題はどんなのが出たの？」など

特徴: 答える側が話したいことを選択することができるため、自由に話せる。質問側の想定を超えた回答が出る可能性もあり、情報が多く得られることで、話に広がり生まれ、新たな視点や考えの発見に役立つ

### ◆閉じられた質問

→「はい」、「いいえ」、その他端的な表現で答えられる質問。Ex)「今日の宿題終わった？」など

特徴: 明確で端的な返事がほしい時、物事の結果をはっきりさせたい時に有効。

これら2つの質問の仕方を目的に応じて使い分けることで、前項のちよい足し情報を惹き出していくことも円滑なコミュニケーションをしていく上で、重要であると言えます。

## 5. 積極的に他者の言葉に耳を傾ける

これまで多くの場面で「話すこと」に焦点を当てて説明をしてきましたが、対話の中では他者の話を「きく」場面が必ずあります。そのため、話すことだけでなく「きく」ことも同じくらい重要となってきます。

一言に「きく」と言っても、実は「聞く」「聴く」「訊く」の3種類あります。今回の場面での「きく」は「聴く」です。この「聴く」は、相手の言うことに耳を傾ける、いわゆる「傾聴」を意味する「聴く」です。

「聴く」と言うと、受動的な印象をお受けになられるかもしれませんが、複雑な話を理解が不十分な中する際や、自分でも上手く話せていないと感じている際、相手が急かしたりせずに、じっくり聴いてくれていることは大きな安心感に繋がります。そういった姿勢で、相手に注意を払いながら「聴く」という行為は、相手を大切に作るアサーションであり、相互交流の要となり得るほどに重要なメンテナンスと言えます。

いかがでしたでしょうか？今回までで言葉を用いたアサーションのご紹介は終了となります。次回からは、今回の文章の中にも少しだけ出てきた、言葉を用いない、非言語的なアサーションについてご紹介していきたいと思えます。